

display プロパティ

display

ボックスの表示型を指定する

書き方	セレクトタ { display: ① }		
値の指定	①キーワード		
適用される要素	すべて	継承	なし

display は、要素をボックスレベル（ブロック要素とインライン要素のどちらか）として扱うか、または、レイアウト（その子要素のために使用されるレイアウト、フロー、フレックス、グリッド）などを設定します。

ここでは、Web サイトを構築する際に使用頻度の高いキーワードを紹介いたします。

キーワード

キーワード	説明
none	指定された要素、および子要素はレイアウトから除外され、文書内に存在しないかのようになります。
block	ブロックレベル要素のようになります。
inline	インラインレベル要素のようになります。
inline-block	ブロックレベル要素のようになりますが、周囲の要素に対しては、インラインレベル要素のように振る舞います
flex	要素はフレックスコンテナとなり、フレックスボックス（フレキシブルボックス）レイアウトを定義します。
grid	要素はグリッドコンテナとなり、グリッドレイアウトを定義します。

フレックスボックスについて

flexiblebox

フレックスボックス（フレキシブルボックス）レイアウト

フレックスボックスは、レイアウトモデルとしてアイテム間でのスペースを分配と、位置合わせの機能を提供します。

フレックスボックスは、一次元方向のレイアウト機能を提供し、行か列のいずれかの方向にしかレイアウトすることができません。もし行と列の二次元方向のレイアウト機能が必要な場合は、グリッドレイアウトを使用しましょう。

フレックスコンテナ

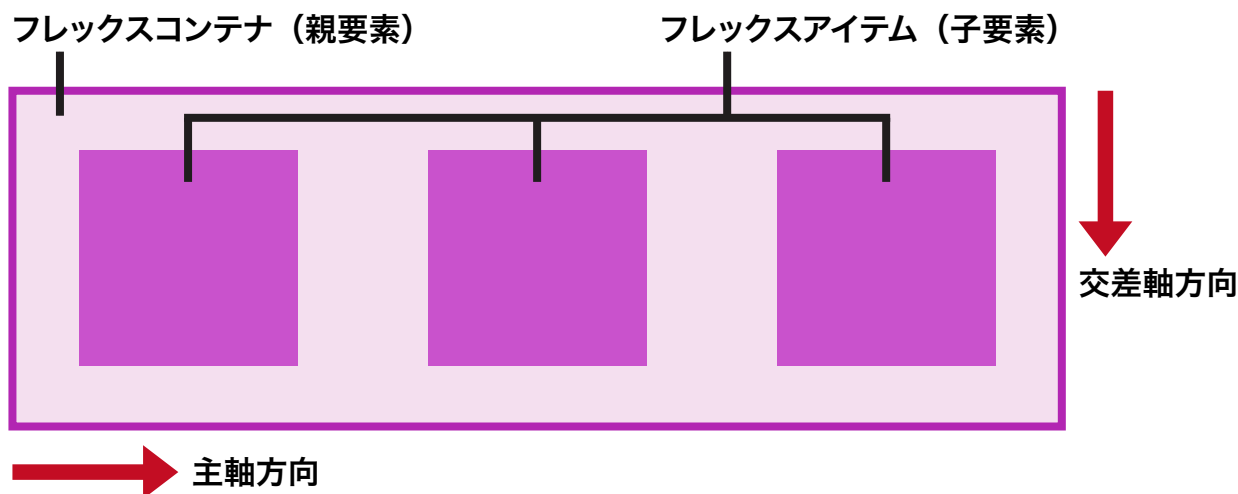
フレックスボックスを使ってレイアウトされる領域のことをフレックスコンテナと呼び、display プロパティで flex を指定された要素は、フレックスコンテナとなります。

フレックスコンテナとなった要素の子要素はフレックスアイテムとなり、フレックスアイテムとなった要素にはいくつかの初期設定が指定されているため、以下のようなレイアウトの振る舞いになります。

- ・フレックスアイテムは、行に沿って並んで表示されます。（flex-direction プロパティの初期値 row）
- ・フレックスアイテムは、主軸方向へ収縮する場合があります。
- ・フレックスアイテムは、交差軸のスペースを埋めるように伸長されます。
- ・flex-basis プロパティの値は、auto が設定されます。
- ・flex-wrap プロパティの値は、nowrap が設定されます。

この結果、フレックスアイテムはすべて一方向に並び、アイテムの大きさがコンテナに収まらない場合は、折り返されずに溢れて表示されます。

一部のアイテムの高さが他のアイテムより大きい場合は、すべてのアイテムが交差軸方向へ高さの差を埋めるように伸長されます。



flex-direction プロパティ

flex-direction

フレックスアイテムの並ぶ方向を指定する

書き方	セレクトア { flex-direction: ① }		
値の指定	①row（初期値） row-reverse column column-reverse		
適用される要素	フレックスコンテナ	継承	なし

flex-direction は、フレックスコンテナの主軸方向を指定することで、フレックスアイテムとなる要素の配置方向を指定します。

キーワード

キーワード	説明
row	フレックスコンテナの主軸を横方向にし、始点から終点（左から右）へフレックスアイテムを配置します。
row-reverse	フレックスコンテナの主軸を横方向にし、始点と終点の位置を反転させ（右から左）へフレックスアイテムを配置します。
column	フレックスコンテナの主軸を縦方向にし、始点から終点（上から下）へフレックスアイテムを配置します。
column-reverse	フレックスコンテナの主軸を縦方向にし、始点と終点の位置を反転させ（下から上）へフレックスアイテムを配置します。

1234

row

4321

row-reverse

1234

column

4321

column-reverse

flex-wrap プロパティ

flex-wrap

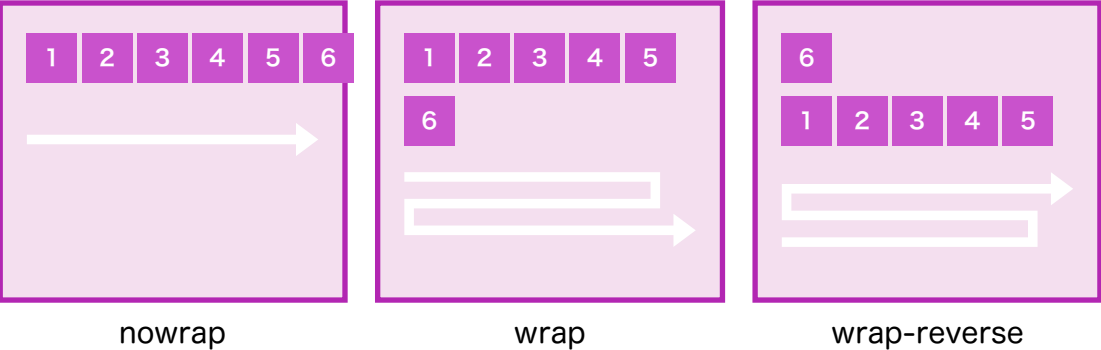
フレックスアイテムの折り返しを指定する

書き方	セレクトタ { flex-wrap: ① }		
値の指定	①nowrap（初期値） wrap wrap-reverse		
適用される要素	フレックスコンテナ	継承	なし

flex-wrap は、フレックスアイテムの折り返しを指定します。折り返す場合の方向も指定することができます。

キーワード

キーワード	説明
nowrap	フレックスアイテムは折り返されず、1 行で表示されます。
wrap	フレックスアイテムは折り返され、複数行で表示されます。
wrap-reverse	フレックスアイテムは折り返され、複数行で表示されます。wrap とは逆に、下から上に折り返されます。



justify-content プロパティ

justify-content

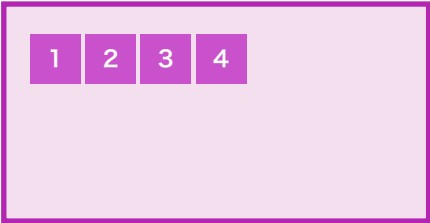
ボックス全体の水平方向の揃えを指定する

書き方	セレクタ { justify-content: ① }		
値の指定	①flex-start flex-end center space-between space-around		
適用される要素	フレックスコンテナ	継承	なし

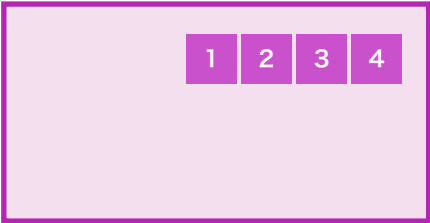
justify-content は、ボックスの主軸に沿ってフレックスアイテムの揃えを指定します。

キーワード

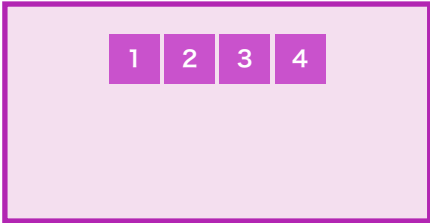
キーワード	説明
flex-start	フレックスコンテナの主軸の始点に揃えます。
flex-end	フレックスコンテナの主軸の終点に揃えます。
center	フレックスコンテナの主軸の幅の中央に揃えます。
space-between	フレックスコンテナの主軸の幅に対して、余白をもってフレックスアイテムが等間隔に配置されます。
space-around	フレックスコンテナの主軸の幅に対して、余白をもってフレックスアイテムが等間隔に配置されます。space-betweenと違って始点と終点との間にも余白による間隔が取られます。



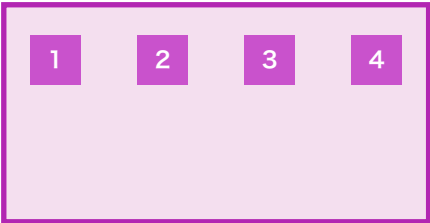
flex-start



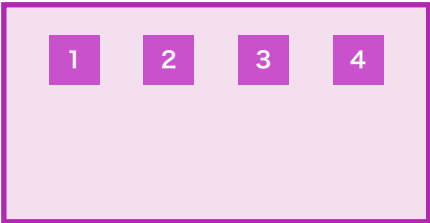
flex-end



center



flex-between



flex-around

align-items プロパティ

align-items

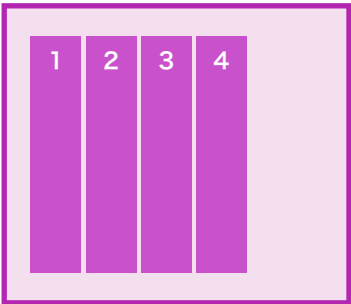
ボックス全体の垂直方向の揃えを指定する

書き方	セレクトタ { align-items: ① }		
値の指定	①stretch（初期値）flex-start flex-end center		
適用される要素	フレックスコンテナ	継承	なし

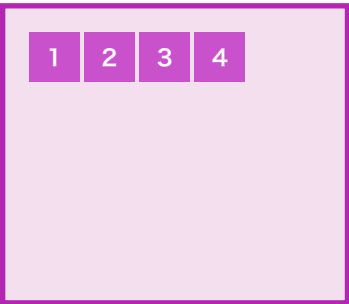
align-items は、フレックスコンテナに空きスペースがあった際に、フレックスアイテムを垂直方向のどの位置に配置するかを指定します。

キーワード

キーワード	説明
stretch	フレックスコンテナの空きスペースを埋めるようにフレックスアイテムが伸縮されます。
flex-start	フレックスコンテナの交差軸の始点に揃えます。
flex-end	フレックスコンテナの交差軸の終点に揃えます。
center	フレックスコンテナの交差軸の幅の中央に揃えます。



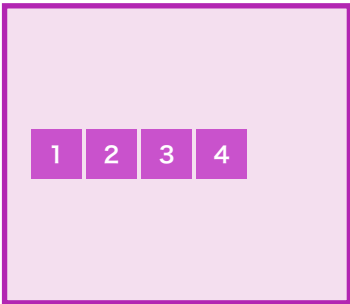
stretch



flex-start



flex-end



center

align-content プロパティ

align-content

ボックス全体の垂直方向の揃えを指定する

書き方

セレクトタ { align-content: ① }

値の指定

①stretch（初期値）flex-start flex-end center space-between space-around

適用される要素

フレックスコンテナ

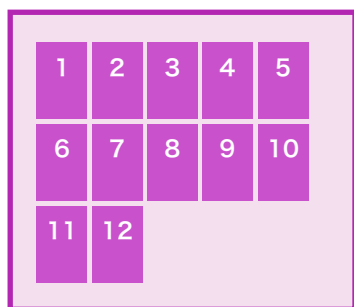
継承

なし

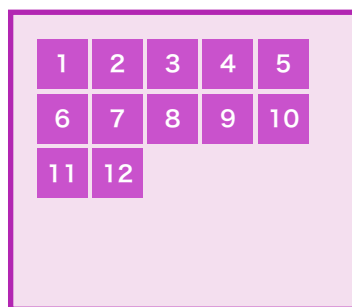
align-items は、フレックスコンテナに空きスペースがあった際に、フレックスアイテムを垂直方向のどの位置に配置するかを指定します。align-content は複数行になったフレックスアイテムの揃えに使用するため、flex-wrap プロパティが nowrap に設定されていた場合は、効果がありません。

キーワード

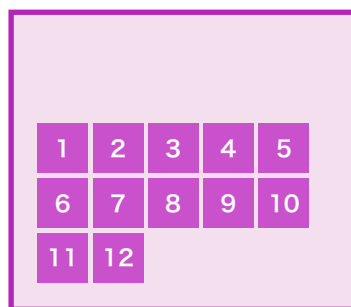
キーワード	説明
stretch	フレックスコンテナの空きスペースを埋めるようにフレックスアイテムが伸縮されます。
flex-start	フレックスコンテナの交差軸の始点に揃えます。
flex-end	フレックスコンテナの交差軸の終点に揃えます。
center	フレックスコンテナの交差軸の幅の中央に揃えます。
space-between	フレックスコンテナの交差軸の幅に対して、余白をもってフレックスアイテムが等間隔に配置されます。
space-around	フレックスコンテナの交差軸の幅に対して、余白をもってフレックスアイテムが等間隔に配置されます。space-between と違って始点と終点との間にも余白による間隔が取られます。



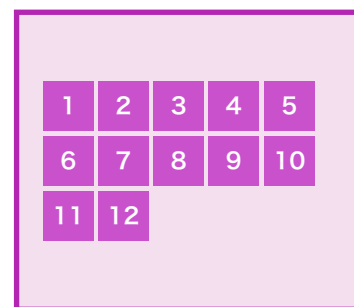
stretch



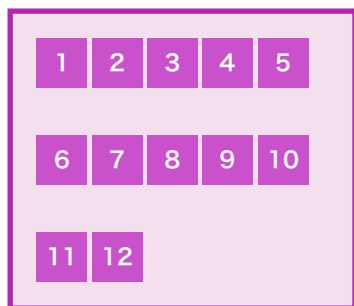
flex-start



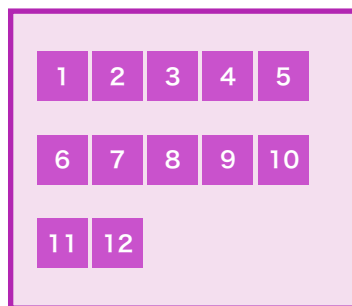
flex-end



center



space-between



space-around